

諸外國間文化條約締約國表

(「フランス」語國名A、B、C順)

國名	相手國名	番號	相手國名	番號
「ドイツ」國	「イタリヤ」國 「イタリヤ」國	46 17	「ハンガリー」國 「スペイン」國	47 35
「アルゼンティン」國	「ブラジル」國 「ブラジル」國 「チリ」國 「チリ」國 「チリ」國	19 21 30 42 44	「ブラジル」國 「ブラジル」國 「ペルー」國 「チリ」國 「チリ」國	20 22 31 43 45
「オーストリー」國	「イタリヤ」國 「フランス」國	25 34	「ハンガリー」國	27
「ベルギー」國	「フランス」國 「ポーランド」國 「フランス」國	4 10 13	「ルクセンブルグ」國 「オランダ」國	9 11

A、B

B、C、D、E

「エストニア」國	「スペイン」國	「デンマーク」國	「チリ」國	「ブルガリア」國	「ブラジル」國
「フィンランド」國	「ドイツ」國	「フランス」國	「アルゼンティン」國 「アルゼンティン」國 「アルゼンティン」國	「ポーランド」國	「ウルグァイ」國 「アルゼンティン」國 「アルゼンティン」國
41	47	15	44 42 30	28	22 20 5
			「ペルー」國 「アルゼンティン」國 「アルゼンティン」國	「チェコスロヴァキア」國	「アルゼンティン」國 「アルゼンティン」國 「ウルグァイ」國
			45 43 37	32	23 21 19

國名

相手國名

番號

相手國名

番號

F、H、I、L

「ルクセンブルグ」國	「フランス」國	6	「ベルギー」國	9
「イタリア」國	「フランス」國 「オーストリー」國 「ドイツ」國	46 25 1	「ドイッチ」國 「ハンガリー」國	26 17
「ハンガリー」國	「ポーランド」國 「オーストリー」國 「フィンランド」國	40 27 24	「イタリア」國 「ドイッチ」國	35 26
「フランス」國	「イタリア」國 「ユーゴスラヴィア」國 「ルクセンブルグ」國 「チェコスロヴァキア」國 「ベルギー」國 「オーストリー」國	34 13 8 6 3 1	「ルーマニア」國 「ベルギー」國 「ポーランド」國 「ノールウェー」國 「デンマーク」國 「スウェーデン」國	36 15 12 7 4 2
「フィンランド」國	「ハンガリー」國	40	「エストニア」國	41

國名	相手國名	番號	相手國名	番號
「ノールウェー」國	「フランス」國	12		
「オランダ」國	「ベルギー」國	11	「チエッコスロヴァキア」國	39
「ペル」國	「アルゼンティン」國	31	「チ」 「リ」國	37
「ポーランド」國	「フランス」國 「ユーゴスラヴィア」國 「ブルガリア」國 「ルーマニア」國	38 28 18 7	「ベルギー」國 「ハンガリー」國 「スウェーデン」國	29 24 10
「ルーマニア」國	「フランス」國 「ポーランド」國	38 2	「チエッコスロヴァキア」國	16
「スウェーデン」國	「ポーランド」國 「フランス」國	36 29	「チエッコスロヴァキア」國	33

T、U、Y

「ユーゴスラヴィア」國	「ウルグァイ」國	「チエッコスロヴァキア」國
「ポーランド」國 「フランス」國	「ブラジル」國	「スウェーデン」國 「ルーマニア」國 「フランス」國
18 3	5	33 16 8
「チエッコスロヴァキア」國	「ブラジル」國	「ユーゴスラヴィア」國 「ブルガリア」國 「オランダ」國
14	23	39 32 14

第
二
表

諸外國間文化條約一覽表 (署名年月日順)

番号	締約國名	條約名	署名年月日	有効期間	内容	備考
1	「イタリア」 「フランス」 國	教授及生徒 交換ニ關ス ル協定	一九一九、一、二九 「ローマ」 一九一九、三、五 「パリ」	期限條項 ナシ	教授、學生、生徒交換 專門委員會設置 私的學者及學識アル者ノ交換 交換教授ノ服務規則、人事規定及報酬規 定 中等學校生ニ關スル特別規定 相手國學生生徒ノ資格認定及免除 休暇講座ノ獎勵 修學旅行ニ對スル便宜供與 國立圖書館、研究所及學校ニ對スル本協 定ノ擴張適用	十五箇條ヨリ成ル (以下之ニ準ズ)
2	「フランス」 國 「ルーマニア」 國	「フランス」 國政府ニ依 リ「ルーマ ニア」國政 府ニ派遣セ ラルル大學 職員ノ詮 衡、身分及 待遇ニ關ス ル條約	一九一九、六、一五 「ブカレスト」 一九二三、一、四 「ブカレスト」	期限條項 ナシ	佛國人教授詮衡ノ方法 佛國人教授ノ待遇(俸給、免除、旅費ニ 關スル規定、服務時間) 「ルーマニア」國政府及佛國人教授間ノ契 約ノ期限 職員ノ監督、昇進及昇給	六箇條
3	「フランス」 國 「ユーゴ」 國	學事條約	一九二〇、三、五 「バリ」	期限條項 ナシ	派遣佛國人教授ノ待遇(俸給、割増金、 免除、旅費、契約ノ期限、昇進、昇給) 詮衡委員會組織	七箇條

1、2、3

8	7	6	5	4	號 番
「チェッコス ロヴァキア」	「フランス」 「ポーランド」 「ド」	「フランス」 「ルクセン ブルグ」	「ウルグァ イ」 「ブラジル」 「國」	「ベルギー」 「フランス」 「國」	「スラヴィア」 「國」
學術、文學 及學事關係	協 定	學術、文學 及學事關係 ニ關スル協 定 同協定附屬 聲明	教授及生徒 交換ニ關ス ル協定	學術、文學 及學事關係 ニ關スル協 定	締約國名
一九二三、 六、二五 「パリ」	一九二三、 五、九 「ワルソー」 一九二三、 六、一一 「パリ」	一九二三、 四、二〇 「ルクセンブルグ」 「パリ」	一九二一、 八、一 「モンテヴィデオ」	一九二一、 六、一七 「パリ」	署名年月日
期限條項 ナシ	期限條項 ナシ	期限條項 ナシ	無期限 但シ廢棄 通告ノ日 ノ後一年 間有效	期限條項 ナシ	有効期間
教授交換 學生生徒ノ學力認定、資格證明	教授交換 學生生徒ノ學力認定、資格證明 專門委員會	教授及學者交換 學生交換 相手國學生ノ學力認定、資格證明 常設混合委員會 (常設混合委員會委員數)	交換教授ニ關スル規定(便宜供與、講義又 ハ講演ノ内容、題目選擇、教授ノ報酬) 相手國學生ノ受クベキ利益、勉學ノ條 件 協定實施費用ノ分擔	教授及學者交換(昇進、榮典、特權ノ享 受、俸給及免除) 生徒交換(學年及資格認定) 常設混合委員會(組織及權限)	內 容
十箇條	十四箇條	十一箇條 「ル」國下院ノ承 認ヲ留保	八箇條 批准條項	三章十四箇條	備 考

<p>9 國「フランス」 明ニ關スル聲 一九二四、四、三〇 「パリ」</p>	<p>10 國「ベルギー」 協定 一九二五、九、一 「ワルソー」</p>	<p>11 國「オランダ」 智的關係ニ 關スル協定 一九二七、一〇、二六 「ブラッセル」</p>
<p>期限條項 ナシ</p>	<p>一年 右期間滿 了後廢棄 セラレザ ルトキハ 無期限ニ 延長セラ レ何時ニ テモ廢棄 シ得 但シ右廢 棄通告ノ 日ノ後三 月間有效</p>	<p>三年 但シ右期 間滿了後 廢棄セラ レザルト キハ更ニ 三年有效</p>
<p>專門委員會</p>	<p>教授交換 學生交換 相手國學生生徒ノ學力認定、資格證明 常設混合委員會</p>	<p>一般的規定 專門委員會 教授交換 獎學資金</p>
<p>三章十一箇條 「ル」國下院ノ承認 ヲ留保</p>	<p>十四箇條 批准條項</p>	<p>五章十一箇條 批准條項</p>

9、10、11

16	15	14	13	12	號 番
「チエッコス ロヴァキア」 國 「ルーマニ	「デンマー ク」國 「フランス」 國	「ユーゴー スラヴィア」 國 「チエッコス ロヴァキア」 國	「ベルギー」 國 「フランス」 國	「フランス」 國 「ノールウェ ー」國	締約國名
學事及智的 關係ニ關ス ル取極	學術、文學 及學事關係 ニ關スル協 定	學事及文化 關係ニ關ス ル聲明	條 約	協 定	條 約 名
一九三〇、一、二二 「ブラーグ」 一九三〇、三、一 「ブカレスト」	一九三〇、一、二四 「バリ」	一九二九、一、二三 「ベルグラード」	一九二九、五、三〇 「ブラッセル」	一九二七、一、二二 「バリ」	署名年月日
署名後直 ニ效力發 生 期限條項	一九三〇 年一月一 五日ヨリ 效力發生 一年ノ豫 告ヲ以テ 廢棄シ得	期限條項 ナシ	期限條項 ナシ	期限條項 ナシ	有効期間
學事及智的關係緊密化ニ關スル一般の規 定 教授交換 語學及文化講座ノ維持、設置	大學間ノ講義及講演ノ交換 大學ニ於ケル講師ノ任命 佛國「リセー」ヘノ生徒及教授派遣 試驗資格認定 特定職業従事ニ關スル國內法規不變更ノ 原則	文化關係強化ニ關スル一般の規定 兩國ノ文化機關及團體間ノ協力 政府ニ依ル豫算支出及行政的措置ノ採用	「ベルギー」國在住ノ佛國人子弟及「フラ ンス」國在住ノ白國人子弟ノ小學校及實 業學校入學許可	教授及講師交換 相手國學生ノ資格認定及學位 常設專門委員會	內 容
十七箇條	四箇條	三箇條	三箇條	十五箇條	備 考

17	「ドイツ」國 「イタリア」國	協 定	一九三〇、一〇、一一 「ローマ」	期限條項 ナシ	<p>「ロヅィノ」ニ於ケル海洋生物學研究所ノ 設立及經營ニ關スル一九三〇年二月二五 日附「イタリア」王立海洋學委員會及「カ イザー、ウイヘルヘルム」科學振興協會間取 極ノ承認、右研究所ノ認定及右取極ニ基 ク相互的義務履行ノ約定</p> <p>附屬、「ロヅィノ」ニ於ケル海洋生物學研 究所ニ關スル「イタリア」王立海洋學委員 會及「カイザー、ウイヘルヘルム」科學振興 協會間取極（一九三〇年二月二五日「ベ ルリン」ニ於テ締結）（十七箇條）</p>	三箇條 批准條項
	「ア」國			ナシ	<p>語學教授 圖書館ノ設置及充實 學生生徒ノ集團旅行ニ對スル便宜供與 兩國文化研究所ノ設置 出版物交換 寫本、「フィルム」交換 獎學資金設定 語學講習會助成 文學的著作物翻譯ノ公刊 相手國語教授書公刊ノ獎勵 國家的祝祭日及作家、學者、藝術家等ノ 記念日ノ慶祝 藝術家ノ巡業、藝術展覽會ノ獎勵 學生生徒ノ學力認定、資格證明 常設委員會</p>	

號 番	18	19	20
締約國名	「ポーランド」國 「ユーゴスラヴィア」國	「ブラジル」國 「アルゼンティン」國	「ブラジル」國 「アルゼンティン」國
條約名	取 極	智的交換條約	歴史及地理教科書修正ノ爲ノ協定
署名年月日	一九三二、一二、二二 「ワルソー」	一九三三、一〇、一〇 「リオ、デ、ジャネイロ」	一九三三、一〇、二〇 「リオ、デ、ジャネイロ」
有効期間	五年 六月ノ豫告ヲ以テ右期間満了ノトキ廢棄セラレザルトキハ新ニ五年ノ期間默示的ニ延長セラレタルモノト看做サレ爾後之ニ準ズ	無期限 但シ六月ノ豫告ヲ以テ廢棄シ得	無期限 但シ六月ノ豫告ヲ以テ廢棄シ得
内 容	専門委員會ノ設置（組織、機能及目的） 小、中學教育機關代表者間ノ頻繁ナル接觸 學生生徒ノ學力及資格認定 生徒交換ニ對スル便宜供與 教授等交換 學術、文學、藝術、演劇、無線放送代表者間關係ノ助成 休暇講習會、觀光旅行團、休暇青少年團、學生團體、展覽會、演劇家及著名文學者ノ巡回公演及講演ノ組織 學術出版物ノ交換 文學的傑作翻譯ノ普及助成 學術研究所、公立圖書館及國民教育機關ノ關係増進	教授等ノ講演及旅行ニ對スル便宜供與 學生ノ旅行ノ促進及見學學生團ノ交換 他ノ米洲國ノ本協定加入ニ關スル規定	歴史教科書ノ校閲 地理教科書ニ最近ノ統計ノ附掲及該教科書ノ訂正 他ノ米洲國ノ本協定加入ニ關スル規定
備 考	六箇條 批准條項	六箇條 批准條項	四箇條 批准條項

21、22、23、24、25

21	22	23	24	25
「ブラジル」 「アルゼン ティン」國	「ブラジル」 國 「アルゼン ティン」國	「ブラジル」 國 「ウルグ アイ」國	「ハンガ リ」國 「ポーラ ン」國 「ド」國	「イタリ ア」國 「オース ト リー」國
藝術的交換 ニ關スル條 約	出版物交換 ニ關スル協 定	藝術的交換 ニ關スル條 約	智的協力ニ 關スル條約	文化關係増 進ノ爲ノ條 約
一九三三、一〇、一〇 「リオ、デ、ジャ ネ イロ」	一九三三、一〇、一〇 「リオ、デ、ジャ ネ イロ」	一九三三、一二、二〇 「モンテヴィデオ」	一九三四、一〇、二二 「ワルソー」	一九三五、二、二 「ローマ」
無期限 但シ六月 ノ豫告ヲ シテ廢棄 シ得	無期限 但シ六月 ノ豫告ヲ シテ廢棄 シ得	無期限 六月ノ豫 告ヲ以テ 廢棄シ得	期限條項 ナシ	無期限 廢棄ハ十 年ノ期間 満了前タ ルヲ得ズ 但シ廢棄 通告ノ日 ノ後六月
美術及應用美術品展覽會ノ開催（構成、 開催中ニ於ケル各種催物、經費負擔、關 稅免除等）	自國圖書館ニ相手國ニ關スル研究室ノ設 置及右ニ對スル圖書ノ提供 相手國外交使節ニ對スル出版物ノ提供 博物館ノ間ニ於ケル著作物等交換事業ノ 維持	毎年相手國首府ニ於テ美術及應用美術展 覽會開催（展示内容、催物、費用、關稅 其ノ他ノ課稅免稅）	自國ニ於ケル相手國學術協會ノ設置 教授及高等專門學校學生交換ノ獎勵及便 宜供與 文學的、學術的傑作品ノ翻譯助成 混合委員會設置（組織、權限）	「ウィーン」ニ「イタリヤ」文化協會並ニ「ロ ーマ」ニ「オーストリー」文化協會ノ創設 兩國政府ノ右ニ對スル各種助成、免除 兩國ノ歴史、文學及文化史講座、其ノ他 特別講座ノ設置 教授等ノ交換 語學講師ノ採用 「オーストリー」中等學校等ニ於ケル「イ
七箇條 批准條項	六箇條 批准條項	七箇條 批准條項	四箇條 批准條項	十九箇條 批准條項

號 番	締約國名	條約名	署名年月日	有効期間	内 容	備 考
26	「イタリア」 「ハンガリー」 「ローマ」	文化條約	一九三五、二、一六	批准書交換ノ日ヨリ十年ニシテ廢棄シ得廢棄通告ノ日ノ後六月間有效但シ兩國ノ研究所及學校ニ付與セラレタル便宜ハ本協定實施ノ後三十年間維持セラル	「ローマ」ニ於ケル「ハンガリー」研究所ノ維持及「ブダペスト」ニ於ケル「イタリア」研究所ノ開設、此等研究所等ニ對スル便宜供與及免除 獎學資金ノ設定 夏期講習會參加ノ獎勵 學生ノ休暇野營組織 相手國ノ歴史及文學講座ノ委囑及維持 相手國語學講座ノ維持、開設 語學講師ノ派遣 研究室ノ委囑、維持 教授ノ交換 中等學校ニ於ケル語學教授及中等學校教科目中ニ相手國事情ノ研究ヲ包含セシムルコト 翻譯ノ爲メ學術的、文學的著作物ノ表ノ交換 演劇及映畫上演及上映ノ獎勵 記録保有、圖書閱覽ニ關スル便宜供與	二十箇條 批准條項

27、28	「ブルガリア」「ポーランド」	條約	一九三五、四、八	五年 右期間満了ノ六月 前ニ廢棄 ノ豫告ナ キトキハ	六箇條 批准條項
27	「ハンガリー」「オーストリー」	協定	一九三五、三、四	無期限 廢棄通告 ノ日ノ後 六月間有 效	十四箇條 批准條項
		「ウィーン」ニ於ケル「ハンガリー」研究所ノ維持		相手國ニ關スル圖書資料ノ增強 見學旅行團ノ助成 藝術展覽會ノ援助 出版物ノ交換保障及便宜供與 放送番組ノ交換及放送中繼	
		「ウィーン」大學ニ於ケル「ハンガリー」歴史、文學講座ノ開設		學生等ニ對スル獎學資金ノ給與ニ關スル諸規定	
		學生ノ夏期講習會參加獎勵		學生ノ休暇野營、修學旅行團ノ組織及便宜供與	
		相手國國語學講師ノ認可		教授交換ニ關スル諸規定	
		學術的、文學的著作物ノ表ノ交換		學術問題ノ合議檢討	
		劇作品、映畫ノ演出及上映ノ助成		中繼放送、相手國文化ニ關スル放送	
		藝術展覽會ノ助成		出版物交換ノ保障	
		公文書資料ノ利用許可		智的協力混合委員會ニ關スル規定(組織、權限、任務等)	

29、30、31、32

號番	締約國名	條約名	署名年月日	有効期間	内 容	備 考
29	「スウェーデン」國 「ポーランド」國	智的協力ニ 關スル議定 書	一九三五、六、七 「ワルソー」	期限條項 ナシ 更ニ五年 間延長セ ラレタル モノト看 做サル	兩國關係ノ歴史的研究ノ獎勵及便宜供與 文學的、學術的著作物翻譯ノ助成 講演及講義ヲ行ハシムル爲ノ教授交換ノ 獎勵及便宜供與 委員會ノ設置	三項
30	「アルゼン ティン」國 「チリ」國	智的交換條 約	一九三五、七、二 「ブエノス、アイレ ス」	無期限 但シ廢棄 通告ノ日 ノ後六月 間有效	教授ヲ交換シ且新聞記者、學生等ノ派遣 ニ對シ便宜供與 平和事業團體又ハ社會事業團體ノ活動ト 其ノ加盟者ノ活動トヲ調整スベキ目的ヲ 有スル學生聯合會ニ對スル便宜供與	五箇條 批准條項
31	「アルゼン ティン」國 「ベルー」國	智的交換ニ 關スル條約	一九三五、七、二 「ブエノス、アイレ ス」	無期限 但シ廢棄 通告ノ日 ノ後六月 間有效	見學、講演、聽講等ノ目的ヲ有スル教授、 學生ノ旅行ニ對スル便宜供與 學術的、文學的及新聞記者協會等ノ間ノ 交換ノ獎勵 大學、高等專門學校等ニ依ル學生ノ旅行 援助	五箇條 批准條項
32	「ブルガリ ア」國 「チェッコス ロヴァキア」	學事及智的 關係ニ關ス ル聲明	一九三五、一一、八 「ブラーグ」 一九三五、一二、一九 「ソフィア」	期限條項 ナシ	教授等交換制度組織ニ關スル諸規定 相手國ノ語學講座ノ高等專門學校等ニ於 ケル設置、維持 「チェッコスロヴァキア」國文部省ヨリ「ソ	十二箇條

33	國
<p>「スウェーデン」國 「チェコスロヴァキア」國</p>	
<p>智的關係ニ 關スル議定書</p>	
<p>一九三六、一、二九 「ブラーグ」 ナシ</p>	
<p>兩國間ノ關係ニ關スル研究並ニ歴史、文學及宗教其ノ他ノ部門ニ於ケル研究ノ獎勵及便宜供與 文學的、學術的著作物ノ翻譯ノ助成 教授等ノ相互訪問ノ獎勵及便宜供與 獎學金受領者及相手國語ニ依ル大學講座ノ交換助成 兩國圖書館ニ於ケル「チェコスロヴァキア」及「スウェーデン」部ノ發展ノ助成 公的出版物ノ規則的交換ノ獎勵 學校教材ノ修正ノ助成</p>	<p>「ファイ」大學等ニ對スル「チェコスロヴァキア」國ニ關スル圖書、同國語研究ノ爲ノ諸資料寄贈 學生生徒ノ集團的旅行ノ獎勵、組織、推薦等 「ブラーグ」ニ於ケル「チェコスロヴァキア」ブルガリア「連帶協會」ノ改組及「ソフィア」ニ於ケル「ブルガロ・チェコスロヴァク」研究所ノ設立 出版物、映畫等ノ交換 獎學資金ノ設置 語學講座設置ノ助成 翻譯ノ獎勵 音樂、演劇ノ上演ニ對スル便宜供與 相手國民ノ重要行事ノ顯彰 藝術家ノ巡業、美術展覽會等ノ援助 相手國ニ於ケル修學ノ認定 學制改革案等ノ通報</p>
九項目	

33

號 番	締約國名	條約名	署名年月日	有効期間	内 容	備 考
34	「フランス」 「オースト リー」國	智的及藝術 的關係ニ關 スル協定	一九三六、四、二 「ウィーン」	無期限 但シ六月 ノ豫告ヲ 以テ廢業 シ得	<p>兩國ノ學事及文化的關係ノ接近ノ使命ヲ有スル協會ノ獎勵展覽會、無線放送、音樂會、藝術巡業等ノ助成</p> <p>「ウィーン」ニ於ケル「フランス」文化研究所ニ對スル「フランス」國政府ノ配慮及右研究所ニ完修評議會設置</p> <p>「オーストリー」國政府ニ依ル「パリ」ニ於ケル兩國間諸文化關係増進ヲ任務トスル施設ノ設置及右設置ノ爲ノ委員會</p> <p>教授等交換制度</p> <p>自國大學等ニ於ケル語學講師ノ雇備</p> <p>相手國學生ノ平等待遇</p> <p>學生生徒ノ交換並ニ團體旅行ノ獎勵及便宜供與</p> <p>學者、教授等ニ對スル特別研究所ニ於ケル研究室交換ノ獎勵及「フランス」國殖民地内ニ於ケル「オーストリー」學者ノ旅行ニ對スル便宜供與</p> <p>中等學校卒業生ノ相手國高等專門學校ヘノ入學、修學及學位取得</p> <p>特殊職業從事規則適用</p> <p>中等學校ニ於ケル相手國國語教授ノ維持</p> <p>美術展覽會、音樂會、演劇會、無線放送、映畫交換等ニ依ル藝術作品ノ交換獎勵</p> <p>圖書館、記録所間ニ於ケル書籍、寫本等</p>	十六箇條 批准條項

35	「ドイツ」國 「ハンガリ」國	智的及文化 的協力ニ關 スル協定	一九三六、五、二八 「ベルリン」	無期限 但シ六月 ノ豫告ヲ 以テ廢棄 シ得	<p>ノ交換獎勵 記錄ノ補充、散逸防止等ノ措置 必要ナル場合ニ於ケル特別委員會ノ設置</p> <p>兩國間文化關係ノ助成ニ資スベキ文化 的、學術的施設ノ發展及維持 相手國ノ語學、文學ノ講座ノ維持及講師 ノ任命 教授交換 相手國ノ學者ニ對スル研究室ノ使用許可 學生交換 休暇講座參加 獎學資金ノ給與 實習生交換</p> <p>青少年ノ見學旅行、會議及共同露營 學生及青少年團ニ對スル便宜供與 翻譯及普及ノ爲ニ望マシキ學術的及文學 的著作物ノ表ノ交換 學術的及文學的ノ新シキ著作物ニ關スル 報告ノ發表 公的出版物、報告ノ交換増進 相手國ニ關スル圖書ノ増加、圖書館ノ利 用及便宜供與 著述家、藝術家等ノ活動獎勵 映畫ノ交換及共同製作 學術及藝術展覽會ノ開催及助成 相手國放送局ノ放送番組及文化ニ關スル 放送ノ獎勵 本協定實施ニ必要ナル外貨獲得ニ伴フ困 難ノ除去 獨混委員會ニ關スル事項</p>	二十三箇條 批准條項
----	-------------------	------------------------	---------------------	-----------------------------------	---	---------------

36	37	38	39
「スウェーデン」國 「フランス」國	「チリ」國 「ペルー」國	「ルーマニア」國 「ポーランド」國	「オランダ」國 「チエッコス」 「ロヴァキア」國
學術的、文學的及學事的關係ニ關スル協定	高等教育教授ノ交換ニ關スル條約	智的協力ニ關スル條約	智的及藝術的關係ノ増進強化ニ關スル協定、(交換公文)
一九三六、六、三「パリ」	一九三六、七、五「サンティアゴ」	一九三六、一、二七「ワルソ」	一九三七、五、二〇 五、二五「ヘーグ」
期限條項ナシ	期限條項ナシ	期限條項ナシ	一九三七年五月二日ヨリ實施期限條項ナシ
教授、講師等ノ交換(授業、講演、特典、俸給、免除)試驗、學位及學力認定(大學生試驗資格者及「バカロレア」資格者ニ關スル件)	高等專門學校教授ノ交換並ニ新聞記者及學生ノ訪問援助ニ關スル規定(人數、便宜供與、講演、費用負擔並ニ學生聯合會、平和及社會事業團體間ノ連絡等)	兩國間關係研究助成ノ目的ヲ以テスル學術團體ノ組織教授、學生、生徒、運動團體、青少年團體交換ノ助成及便宜供與文學的、學術的傑作品ノ翻譯助成學術、文學、藝術、演劇、音樂、新聞、映畫及放送關係者間ノ關係及協力増進教材內容ノ友好的編輯及右ノ爲ニスル情報交換藝術展覽會、演劇上演映畫上映ノ助成放送番組ノ交換及相手國文化ニ關スル特別放送ノ獎勵協定實施ノ爲ノ混合委員會ニ關スル規定	兩國ノ學術的、文學的及藝術的關係ノ増進、獎勵並ニ右ニ對スル便宜供與自國大學ニ於ケル相手國國語ノ講座組織ノ獎勵講演又ハ特別講義ヲ行フベキ教授等交換
二章十箇條	四箇條	六箇條 批准條項 附屬調書二	附屬書十四項目 本協定ハ蘭領「インド」、「スリナム」及「キュラサオ」ニモ適用セラル

<p>40 「フィンランド」國 「ハンガリー」國</p>	
<p>智的協力ニ 關スル條約</p>	<p>附屬書)</p>
<p>一九三七、一〇、二二 「ブダペスト」</p>	
<p>無期限 廢棄通告 ノ日ノ後 六月間有 效</p>	
<p>「ハンガリー」國政府ニ依ル「ヘルシンキ」 大學「ハンガリー」文化協會ニ對スル補助 金ノ下附繼續及「ブダペスト」ノ「フィン ウグリアン」協會ノ維持發展 相手國國語教授ノ爲ノ相手國人講師ノ雇 傭 混合委員會ノ研究助成 學術團體及學術會議ノ援助 兩血族國民ノ爲ノ授業實施 相手國國際日ノ慶祝 教授、學者等ニ對スル獎學資金ノ給與及 其ノ研究助成</p>	<p>換 研究旅行ノ獎勵及便宜供與 獎學金受領學生ノ交換ニ對スル便宜供 與 相手國大學聽講料ノ免除、割引等 學術的、文學的著作物ノ相手國國語ヘノ 翻譯助成 主要圖書館ニ於ケル相手國特別室ノ發展 助成 公的出版物ノ定期交換助成 學校教科書ノ訂正 各種藝術作品ノ交換 兩國文化關係増進ノ使命ヲ有スル協會ノ 活動ノ獎勵及活動ニ對スル便宜供與 學生交換 圖書館、記錄所間ニ於ケル圖書、寫本ノ 相互貸與ノ助成</p>
<p>十六箇條 批准條項</p>	

號 番	締約國名	條約名	署名年月日	有効期間	内 容	備 考	
41	「フィンランド」國 「エストニア」國	智的協力ニ 關スル協定	一九三七、一二、一 「ヘルシンキ」	無期限 廢棄通告 ノ日ノ後 六月間有 效	大學、專門學校教職員ノ交換 學生ニ對スル獎學金給與及給費學生ノ學 修規程 學生ノ夏季講習、夏季野營參加ノ獎勵 學生聯盟等ノ援助 教科書ノ友好的且正確ナル編輯及右目的 ノ爲ニスル情報交換 學術的、文學的著作物ノ表ノ交換及翻譯 刊行ニ對スル便宜供與 演劇上演、映畫上映ノ推薦 展覽會組織ノ援助 中繼放送及相手國文化ニ關スル放送ノ配 慮 官廳出版物、學術研究所ノ定期刊行物ノ 交換助成 圖書館ニ於ケル相手國ニ關スル文獻ノ增 加、相手國國民ノ圖書館ノ利用許可及便 宜供與 兩國圖書館、記錄所間ニ於ケル圖書貸與 ノ助成等 運動、競技ニ依ル協力及接觸ノ助成及便 宜供與 芬洪混合委員會組織	「ヘルシンキ」大學ニ「エストニア」研究所 及「タルト」大學ニ「フィンランド」研究所 ノ創設、助成、利用 相手國言語教授ノ援助及講師ノ任命 兩國文化關係増進ニ従事スル學術協會及	十八箇條 批准條項

學術會議ノ援助、「フイニッシュ・ユグリア」文化會議ノ援助
 血族國民ノ爲ノ講義實施
 學校ニ於ケル相手國國際日ノ慶祝
 相手國學者ノ研究援助、教授交換ノ獎勵
 學生ニ對スル獎學資金ノ給與及學修規則
 學生ノ夏期講習會參加
 研究旅行、學生交換ノ援助
 教科書ノ正確且友好的編輯及右目的ノ爲
 ニスル情報ノ相互供與
 學校教師ノ相手國國語研究ノ獎勵
 自國在留相手國人ニ對スル語學教育ノ機會付與
 翻譯ノ爲ニスル學術的、文學的著作物ノ
 目錄ノ相互呈示及翻譯出版ノ援助
 演劇上演、映畫上映ノ推薦
 美術展覽會開催ノ援助
 兩國音樂的關係ノ強化
 放送番組ノ交換及相手國文化ニ關スル放送ノ配慮
 學術的官廳出版物ノ交換援助
 自國圖書館ニ於ケル相手國關係文獻ノ增加、相手國民ノ平等待遇
 兩國圖書館、記錄所間ニ於ケル圖書、寫本ノ借用獎勵
 學生生徒ニ對スル獎學金ノ給與
 混合委員會ノ設置

號番	締約國名	條約名	署名年月日	有効期間	内 容	備 考
42	「アルゼンティン」國 「チリ」國	國內及南米ノ歴史及地理ノ教授及教科書ノ檢閱ニ關スル條約	一九三八、六、三 「ブエノス、アイレス」	無期限 廢棄通告 ノ日ノ後 六月間有 效	南米ノ史的協和關係特ニ兩締約國間ニ於ケル傳統的親善關係強化ノ目的ヲ以テ「サンティアゴ」市及「ブエノス、アイレス」市ニ兩國及南米歴史地理教授及教科書ノ檢閱委員會ノ設置、組織、任務	四箇條 批准條項
43	「アルゼンティン」國 「チリ」國	教授、操觚者、藝術家、科學者、技師及定期刊行物發行所並ニ大學生交換ニ關スル條約	一九三八、六、三 「ブエノス、アイレス」	無期限 廢棄通告 ノ日ノ後 六月間有 效	大學其ノ他ノ文化協會ノ發意ニ依リ教授、操觚者、藝術家、科學者、技師等ヨリ成ル委員會ヲ組織シ相手國學徒ニ對スル講習及講演ヲ行ハシム 新聞記者ニ依ル相手國ノ文化事業等ノ報道	三箇條 批准條項
44	「アルゼンティン」國 「チリ」國	著作物ノ交換並ニ「サンティアゴ」及「ブエノス、アイレス」ノ國立圖書館内ニ特別室創設ニ關スル條約	一九三八、六、三 「ブエノス、アイレス」	無期限 廢棄通告 ノ日ノ後 六月間有 效	「ブエノス、アイレス」市國立圖書館内ニ「チリ」圖書館、「サンティアゴ」市國立圖書館内ニ「アルゼンティン」圖書館ノ設置 右兩圖書館ニ對スル二千部ノ著作物ノ寄贈並ニ新刊重要著作物及雜誌ノ定期寄贈	三箇條 批准條項

<p>46 「ドイツ」國 「イタリヤ」國</p>	<p>45 「アルゼン ティン」國 「チリ」國</p>
<p>文化的協力 ニ關スル協 定</p>	<p>議 定 書</p>
<p>一九三八、一一、二三 「ローマ」</p>	<p>一九三八、六、三</p>
<p>無期限 但シ一年 ノ豫告ヲ 以テ廢棄 シ得</p>	<p>期限條項 ナシ</p>
<p>相互ノ文化ニ關スル認識、普及ニ寄與ス ル文化施設ノ擁護、維持及擴大 右施設及其ノ事業ニ必要ナル諸資料ニ對 スル課稅免除 文化會館ノ助成 「ドイツ」學、「ローマ」學、相手國ノ語 學、文學講座ノ維持充實、右講座擔任教 授ノ任命、招聘、語學講師ノ任命援助 相手國學者ノ自國大學等ニ於ケル講演、 講義ノ獎勵 教授等ノ交換 學術研究室ノ相互提供 教員交換、學生交換 實習生交換、語學講習會ノ援助、自國內 (及殖民地)ニ於ケル相手國ノ學校ノ助 成、設置 中等學校等ニ於ケル相手國ノ國語教授ノ 增強、「ナチ」黨及「ファシスト」黨ニ於ケ ル相手國ノ國語學修ノ促進 專門學校ノ入學、學修及卒業認定等ニ關</p>	<p>相手國ニ輸出セラルル非營利の書籍、繪 畫、彫刻、藝術寫真、一般藝術品等ノ搬 出入、展示等ニ對スル便宜供與(關稅、 手數料、手續、運賃ノ免除又ハ割引、其 ノ他) 人的交換、出版物交換ニ關シ密接ナル關 係持續ノ勸說 兩國ニ對スル顯著ナル功勞者「サルミエ ント」五十年祭ニ當リ胸像ノ寄贈及設置</p>
<p>三十四箇條 批准條項</p>	

45、
46

號 番	締約國名	條約名	署名年月日	有効期間	内 容	備 考
47	「ドイツ」國 「スペイン」國	精神的文化的協力の關係 スル協定	一九三九、一、二四 「ブルゴス」	無期限 但シ一年ノ豫告ヲ以テ廢棄シ得	<p>スル取極ノ準備 教科書ノ内容修正 書籍雜誌ノ普及促進及各種便宜ノ供與 刊行物及其ノ表ノ交換及便宜供與 翻譯ノ促進及禁遏 圖書及寫本ノ貸與ノ促進 文學者及美術家ノ活動促進 學術及藝術展覽會ノ開催及援助 演劇、音樂、映畫及無線放送交換ノ促進 及援助 藝術家ノ交換促進 國際會議、國際文化會議等ニ於ケル協力ノ確保 「ナチス」黨及「ファシスト」黨間並ニ其ノ他ノ公的團體間等ニ於ケル文化的取極ノ效力 文化協定實施ヨリ生ズル支拂送金ニ關スル協議 獨伊文化委員會</p> <p>兩國間ノ文化的理解ノ増進ヲ目的トスル文化的、學術的施設ノ維持、設置ニ對スル好意及保護ノ付與 自國ニ於ケル相手國文化研究所ノ設立 「スペイン」國ニ「ドイツ」會館、「ドイツ」國ニ「スペイン」會館設立ニ關スル取極ヲ爲スコト 兩國ノ文化的施設ニ付與スベキ財政的特</p>	二十二箇條 批准條項

典ノ調査
 大學機關ニ於ケル兩國ノ國語及文化ノ研究促進
 相手國國語教授獎勵ノ爲大學、專門學校ニ於ケル講師ノ任命及使用教科書ノ選擇
 自國大學、專門學校ニ於ケル相手國學者、專門家ノ講演促進及教授、助手ノ交換
 學術研究所内ニ於ケル相手國學者ニ對スル便宜供與
 學生交換制度ノ實施
 「アレキサンダー、フォン、フンボルト」協會ニ依ル獎學資金ノ給與
 相手國大學等ニ設ケラルル夏季講座ニ對スル學生參加ノ獎勵
 學生交換、研究旅行、共同野營ニ依ル兩國青年ノ親善促進、語學及文學教師ノ交換ニ對スル特別ノ考慮
 自國ニ於ケル相手國ノ學校ニ對スル特別ノ保護及右學校ニ於ケル授業、卒業、補修講座ニ關スル規程
 中等學校ニ於ケル相手國國語ノ教授書籍、雜誌ノ普及促進及新聞雜誌ノ交換ニ對スル便宜供與
 兩國圖書館ニ相手國ノ學術、文學及現代史ニ關スル書籍支給ノ爲ニスル「ドイツ」國對外圖書交換局及「スペイン」國文部省圖書局間ノ出版物交換
 適當ナル圖書ノ相手國譯ヘノ翻譯促進、翻譯セラルベキ著作物ノ表ノ送付及翻譯

號 番	締約國名	條約名	署名年月日	有效期間	內 容	備 考
					<p>出版ニ對スル指導 相手國ノ政治的亡命者ノ著作物翻譯出版ノ禁止 相手國ノ政體又ハ其ノ指導者ヲ誹謗セル著作物ノ販賣又ハ公立圖書館ニ依ル普及ノ不許可 文化及學術展覽會ノ開催及援助竝ニ展覽會用輸入品ノ關稅免除 演劇及音樂部門ニ於ケル有效ナル交換ノ確保ノ爲ノ取極締結 相手國ノ映畫特ニ文化及教育映畫ノ輸入ヲ容易ナラシムル爲ノ取極締結 相手國ニ關スル認識増進ノ爲ニスル放送ノ考慮 本協定實施ニ必要ナル外國爲替ニ關スル困難除去ノ爲ノ特別取極締結 本協定實施ノ爲ノ獨西委員會ノ設置</p>	

昭和十七年十月

參照

日本國「タイ」國間文化協定ニ關スル説明書

極秘

外務省條約局

日本國「タイ」國間文化協定ニ關スル説明書

一、本協定締結ノ經緯

我國ト「タイ」國トノ關係ハ客年末ノ同盟條約締結以來不動ノ方針ノ下ニ愈々緊密化シ爾來經濟的協力増進ニ關スル各種問題ノ妥結等ニ依リ其ノ提携ハ益強固ト成リタルガ兩國ノ親善關係ヲ不變且堅實ナラシムルガ爲ニハ特ニ兩國相互ノ認識及理解ヲ深ムルノ緊要ナルコト論ヲ俟タズ之ガ爲ニハ兩國間ニ文化協定ヲ締結シ確固タル基礎ノ上ニ彼我ノ文化ヲ相互ニ紹介シ兩國間ノ認識及理解ヲ深ムルコト最モ有效ナリト認メ豫テヨリ右ノ趣旨ヲ「タイ」國側ニ傳ヘ來リタル處同國モ之ニ全面的ニ贊意ヲ表シタルニ依リ本年八月二十八日協定案ヲ提示シ正式ニ協定締結ヲ提案シタル處「タイ」國側ニ於テモ何等重大ナル異議ナク急速妥結ニ達シ本年十月二十八日調印セラレタルモノナリ

二、本協定ノ内容

(一) 前文

兩國ノ文化協力ノ建前トシテ兩國文化ノ本然ノ特質ヲ相互ニ尊重シツ兩國間ノ文化關係ヲ更ニ増進スル爲緊密ニ協力スルコトヲ明確ニシ斯クシテ東亞文化ノ興隆ニ貢獻スルニ努力シ併セテ兩國間ニ既ニ存在スル友好關係ヲ一層強固ナラシメンコトヲ欲スル旨ヲ述ベ本文化協定締結ノ大目

標ヲ示シタリ

(二) 本文

其ノ全體ヲ通ジ兩國ハ平等ノ立場ニ於テ相互主義ニ基キ文化關係ノ増進ヲ圖ルコトヲ其ノ基調トシ各條ニ於テ夫々協カスベキ事項及態様ヲ例示的ニ列舉シ適當ナル範圍ニ於テ能フ限り具體的ニ記述スルコトトセリ

(イ) 第一條

本條ニ於テ兩國ハ其ノ文化關係ノ基礎ヲ堅實ナラシメ以テ兩國相互ノ認識及理解ヲ深カラシムルニ努メ且之ガ爲文化活動ノ有ラユル部門ニ於テ最モ緊密ニ協カスベキコトヲ規定シ前文ノ趣旨ヲ承ケ第二條以下ニ於テ具體的協カヲ爲スベキ事項及態様ヲ總括的ニ指示スル目的ヲ明ニシタリ本條ニハ「之ガ爲文化ノ有ラユル部門ニ互リ最モ緊密ナル協カヲ爲スベシ」トアル處同條ニ謂フ文化ノ内容ハ第二條以下ニ例示セラレタル通り主トシテ學術、藝術、宗教、厚生事業、青少年運動、放送、映畫等ヲ其ノ内容トスルコト勿論ナルモ此等本協定ニ列舉セラレタル部門ニ限定スルノ意ニ非ズシテ直接政治、軍事、經濟ノ分野ニ關スルモノ及他ノ條約等ニ依リ規定セラレタルモノヲ除キ廣ク兩國民ノ文化活動ノ全體ニ付支障ナキ限り本協定ノ趣旨ヲ適用セントスルモノナリ

(ロ) 第二條以下第十一條迄ハ之ヲ要約スレバ兩國ノ文化ノ向上發展ヲ圖リ其ノ文化關係ノ増進ニ資スル各種ノ事業ノ振興及施設ノ増強ニ兩國政府自ラ能フ限り努力ヲ爲スト共ニ右ノ目的ヲ有スル民間ノ活動ニ對シ兩國ガ相互ニ能フ限り便宜ヲ供與シ之ヲ助成スルニ努ムルコトヲ規定シタルモノニシテ之ヲ分説スレバ

一般的ニハ文化會議ヲ開催シ及助成スルコト(第二條)、學術其ノ他ノ文化ニ關スル團體、研究所、圖書館、博物館、學校及衛生福祉施設等ニシテ兩國間ノ文化關係ノ増進ニ資スベキ施設ノ設置、維持及發展ニ努メ且之ガ爲相互ニ能フ限り便宜ヲ供與スベキコト(第三條)、日本ハ「バンコック」ニ、「タイ」國ハ東京ニ自國文化ノ紹介機關ヲ設置シ兩國文化關係ノ増進ニ寄與セシムルコト(第十一條)等ニ付規定シ、

學術ニ關スル協力ニ付テハ大學ニ於ケル他方ノ文化ニ關スル講座ノ設置、維持及充實(第四條)、交換教授(第四條)、研究員及學生ノ交換、派遣及招致(第五條)、學者及専門家ノ自國ノ文化研究ニ對スル便宜供與(第五條)、著述家ノ活動獎勵(第六條)、獎學資金ノ給與(第五條)等ニ付規定シ、

藝術關係ノ増進ノ爲ニハ各種藝術家ノ活動ノ獎勵及其ノ交換、派遣又ハ招聘ヲ行ヒ(第六條)、各種藝術作品ノ供給、紹介、普及、翻譯、複製等ニ關シ必要ナル便宜ヲ供與スルニ努メ(第七

條)且展覽會(第八條)、放送(第九條)等ヲ通ジ其ノ普及ヲ圖ルコトトセリ
 宗教關係ニ付テハ宗教家ノ活動ヲ獎勵シ且其ノ交換、派遣又ハ招聘ヲ行フベキコト(第六條)
 トシ、

厚生事業ニ付テハ主トシテ衛生ニ關スル非營利的ノ福祉施設ノ設置、維持及發展ニ努メ且之ガ
 爲相互ニ能フ限リ便宜ヲ供與スベキコト(第三條)ヲ定メタルガ、
 右諸事項ノ外青少年團及運動競技選手並ニ觀光旅行團及見學旅行團ヲ交換、派遣又ハ招致スル
 ニ努ムルコト(第十條)ヲ規定シタリ

(ハ) 第十二條

本協定ノ實施ハ常ニ兩國ノ協力ニ依リ行ハルルモノナルモ事項ノ性質上兩國政府ノミガ直接其
 ノ實施ニ當ルコトヲ得ザルモノアル結果兩國間ノ緊密ナル連絡ニ當ラシムル目的ヲ以テ東京及
 「バンコック」ニ夫々日「タイ」兩國官民混合ノ委員ヲ以テ構成セラルル文化連絡協議會ヲ設置
 スルコトヲ規定シタリ右協議會ノ組織及運用ニ關スル細目ハ兩國ノ外交機關之ヲ協議決定スベ
 キコトトシタリ

(ニ) 第十三條

本協定各條ノ具體的實施ニハ更ニ詳細ナル規定ヲ必要トスルヲ以テ本協定ノ實施ニ關スル細目

ハ兩國ノ外交機關之ヲ協議決定スルコトニ定メタリ例之第四條ノ教授交換、第五條ノ學生交換及第九條ノ定期交換放送ノ具體的實施方法ニ關スル細目等ハ本條ニ依リ協議決定セラレベキモノトス

(ホ) 第十四條

本協定ハ批准セラレベキコト、兩國ノ批准書ハ成ルベク速ニ「バンコック」ニ於テ交換セラレベキコト、本協定ハ批准書交換ノ日ヨリ之ヲ實施シ且同日ヨリ十年間引續キ效力ヲ有スベキコト及兩國ノ一方ガ本協定ヲ終了セシムルノ意思ヲ右十年ノ期間滿了ノ一年前ニ他方ニ通告セザル場合ニハ兩國ノ中ノ何レカガ本協定ヲ廢棄スル通告ヲ爲シタル日ヨリ一年ノ期間ノ滿了スルニ至ル迄引續キ效力ヲ有スベキコトヲ規定シタリ

昭和十七年十月二十九日 印刷

四

外甲四三

昭和十七年十二月三十一日

内閣書記官長

内閣書記官

文部省
文書課
文書係

内閣總理大臣

法制局長官

外務大臣

商工大臣

大東亞大臣

魚

遞信大臣

至

鈴木國務大臣

魚

内務大臣

司法大臣

鐵道大臣

安藤國務大臣

魚

大藏大臣

文部大臣

興

厚生大臣

魚

陸軍大臣

農林大臣

魚

別紙外務大臣請議

日本國、夕、日、國

間文化協定公布方請議、件

文書係

ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス依テ請議ノ通
條約公布ノコトニ閣議決定セラレ可然ト認ム

條約公布案

呈案ノ通

法務局外第一三三號
昭和十七年十二月十九日

秘

法制局

主任者、條約局第一課長

條一秘第八五六號

昭和十七年十二月十七日

外務大臣 谷

正之

内閣總理大臣 東 條 英 機 殿



日本國「タイ」國間文化協定公布方請議ノ件

本年十月二十八日東京ニ於テ署名セラレタル日本國「タイ」國間文化協定近ク「バンコク」ニ於テ批准書交換ノ運ト相成ルベク候ニ付テハ右交換濟ノ節ハ至急官報ヲ以テ公布方可然御取計相成度別紙公布案相添ヘ此段及請議候也
追テ交換濟ノ節ハ其ノ旨直ニ通報ニ及ブベク候
尚公布案文書左ノ通り添附致置候

外甲四三

外務省

一 上諭文案

二 協定日本文

三 御批准文

二

五

二

部

部

部

外
務
省

(日本標準規格B5)

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ昭和十七年十月二十八日東京ニ於テ帝國
全權委員ガ「タイ」國全權委員ト共ニ署名調印シタル日本國「タ
イ」國間文化協定ヲ批准シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十七年十二月二十六日

內閣總理大臣

外務大臣

大東亞大臣

外務省

條約第二號

日本國「タイ」國間文化協定

大日本帝國天皇陛下及

「タイ」國皇帝陛下ハ

兩國文化ノ本然ノ特質ヲ相互ニ尊重シツツ緊密ナル協力ノ下ニ兩國間ノ文化關係ヲ更ニ増進セシメ以テ東亞文化ノ興隆ニ寄與スルニ努メ併セテ幸ニ兩國間ニ存在スル友好關係ヲ一層強固ナラシメンコトヲ欲シ

之ガ爲文化協定ヲ締結スルコトニ決シ左ノ如ク各其ノ全權委員ヲ任命セリ

大日本帝國天皇陛下

外務大臣谷正之

「タイ」國皇帝陛下

日本國駐劄「タイ」國特命全權大使「ナイ、ディレック、チャイヤナム」

右各全權委員ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ之ガ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ諸條ヲ協定セリ

第一條

締約國ハ兩國間ノ文化關係ノ基礎ヲ堅實ナラシメ以テ兩國相互ノ認識及理解ヲ深カラシムル様努力スベク且之ガ爲文化ノ有ラユル部門ニ互リ最モ緊密ナル協力ヲ爲スベシ

第二條

締約國ハ兩國ノ文化ノ向上發展ニ付審議スル爲ノ文化會議ヲ隨時ニ開催シ及右目的ヲ有スル會議ヲ助成スルニ努ムベシ

第三條

締約國ハ兩國間ノ文化關係ノ増進ニ資スベキ施設ノ設置、維持及發展ニ努メ且之ガ爲相互ニ能フ限リ便宜ヲ供與スベシ
前項ノ施設ハ學術其ノ他ノ文化ニ關スル團體、研究所、圖書館、博物館、學校及衛生福祉施設ヲ含ムモノトス

第四條

締約國ノ一方ハ自國ノ大學ニ於ケル他方ノ文化ニ關スル講座ノ設置、維持及充實ニ特別ノ考慮ヲ拂フベシ
締約國ノ一方ハ自國ノ適當ナル各種ノ學校ニ於ケル他方ノ國語ノ教授ニ特別ノ考慮ヲ拂フベシ

締約國ハ兩國ノ文化ニ關スル講義又ハ講演ヲ爲サシムル爲教授、學者及專門家ノ定期交換、派遣又ハ招聘ニ特別ノ考慮ヲ拂フベシ

締約國ハ前三項ノ規定ノ實施ニ付相互ニ能フ限り便宜ヲ供與スベシ

第五條

締約國ハ兩國ノ協議決定スル所ニ從ヒ兩國ノ文化ヲ研究セシムル目的ヲ以テ研究員、學生及生徒ノ定期交換、派遣又ハ招致ヲ行フベシ

締約國ハ實務見習生及短期講習生ヲ交換、派遣又ハ招致スルニ努ムベシ

締約國ハ前二項ノ規定ノ實施ニ付相互ニ能フ限り便宜ヲ供與シ且獎學資金ノ設定ニ考慮ヲ拂フベシ

締約國ノ一方ハ自國ノ文化研究ノ爲來レル他方ノ學者及專門家ニ對シ同様ノ便宜ヲ供與スベシ

第六條

締約國ハ兩國間ノ文化關係ノ増進ニ寄與スベシト認ムル著述家、藝術家及宗教家ノ活動ヲ獎勵シ且此等ノ者ヲ交換、派遣又ハ招聘スルニ努ムベシ

締約國ハ兩國間ノ文化關係ノ増進ニ寄與スベシト認ムル演劇、舞踊及音樂ノ上演ヲ獎勵シ且之ニ從事スル個人及團體ヲ交換、派遣又ハ招聘スルニ努ムベシ

第七條

締約國ノ一方ハ自國ニ於ケル出版物、映畫、幻燈、寫眞、音盤及樂譜ニシテ兩國相互ノ認識及理解ノ増進ニ寄與スベシト認ムルモノヲ能フ限リ多數且頻繁ニ他方ニ供給スルニ努ムベク他方ハ此等ノモノガ自國ニ於テ有效ニ利用セラルル様其ノ保存、頒布、上映及展示ニ特別ノ考慮ヲ拂フベシ

締約國ハ自國ニ於ケル出版物及藝術作品ニシテ相手國ニ紹介スル價值アリト認ムルモノノ表ヲ交換スベク且適當ナル方法ニ依リ此等ノモノヲ紹介及普及スルニ努ムベシ

締約國ハ前記出版物及藝術作品ノ翻譯及複製ニ關シ必要ナル斡旋及助成ヲ爲スニ努ムベシ

締約國ノ一方ハ自國ノ圖書館及博物館ニ他方ニ關スル圖書及展覽資料ヲ増加スルニ努ムベク且此等施設ノ利用ニ關シ他方國民ニ對シ能フ限リ便宜ヲ供與スベシ

第八條

締約國ハ兩國ノ學術、美術及工藝ニ關スル相互ノ認識及理解ヲ増進スル目的ヲ以テ隨時ニ展覽會ヲ開催シ及右目的ヲ有スル展覽會ノ開催ニ關シ必要ナル斡旋及助成ヲ爲スニ努ムベシ

第九條

締約國ノ一方ハ自國ノ放送局ヲシテ他方ニ向ケ定期放送ヲ行ハシメ且他方ノ定期放送ヲ中繼セシムベシ

締約國ノ一方ハ自國ノ放送局ヲシテ隨時ニ講演、演藝、音樂等他方ノ文化ニ關スル放送ヲ行ハシムベシ

第十條

締約國ハ兩國國民交驩ノ爲青少年團及運動競技選手ヲ交換、派遣又ハ招致スルニ努ムベシ
締約國ハ兩國相互ノ認識及理解ヲ増進スル爲觀光旅行團及見學旅行團ヲ交換、派遣又ハ招致スルニ努ムベシ

締約國ハ前二項ノ規定ノ實施ニ付相互ニ能フ限り便宜ヲ供與スベシ

第十一條

締約國ハ兩國間ノ文化關係ノ増進ニ寄與セシムル爲夫々相手國ノ首府ニ文化紹介機關ヲ設置スルニ努ムベク且右機關ノ事業ニ對シ相互ニ能フ限り便宜ヲ供與スベシ

第十二條

締約國ハ本協定ノ實施ニ關シ兩國間ノ連絡ニ當ラシムル爲東京及「バンコック」ニ文化連絡協議會ヲ設置スベシ

右協議會ノ組織及運用ニ關スル細目ハ締約國ノ外交機關之ヲ協議決定スベシ

第十三條

本協定ノ實施ニ關スル細目ハ締約國ノ外交機關之ヲ協議決定スベシ

第十四條

本協定ハ批准セラルベク且其ノ批准書ハ成ルベク速ニ「バンコック」ニ於テ交換セラルベシ
本協定ハ批准書交換ノ日ヨリ之ヲ實施シ且同日ヨリ十年間引續キ效力ヲ有スベク又締約國ノ一方ガ本協定ヲ終了セシムルノ意思ヲ右十年ノ期間滿了ノ一年前ニ他方ニ通告セザル場合ニハ本協定ハ締約國ノ一方ガ其ノ廢棄ノ通告ヲ爲シタル日ヨリ一年ノ期間ノ滿了ニ至ル迄引續キ效力ヲ有スベシ

右證據トシテ各全權委員ハ本協定ニ署名調印セリ

昭和十七年十月二十八日即チ佛曆二千四百八十五年十月二十八日東京ニ於テ日本文及「タイ」文ヲ以テ
本書ニ通ヲ作成ス

谷 正 之 (印)

ディレック、チャイヤナム (印)

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メル
大日本帝國天皇（御名）此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕昭和十七年十月二十八日東京ニ於テ帝國全權委員ガ「タイ」國
全權委員ト共ニ署名調印シタル日本國「タイ」國間文化協定ヲ閱
覽點檢シ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千六百二年昭和十七年十二月五日東京宮城ニ
於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名 國璽

外務大臣 谷 正之

秘

急

條一祕第八六七號

昭和十七年十二月二十二日

外務次官 松本俊

内閣書記官長 星野直樹殿

日本國「タイ」國間文化協定公布ニ關スル件

本件ニ關シテハ本月十七日附條一祕第八五六號ヲ以テ谷外務大臣ヨリ東條内閣總理大臣宛申進置タル處今般在「バンコック」坪上大使ヨリ本月二十一日批准書ノ交換ヲ了シタル旨電報アリタルニ付同協定至急公布方御取計相成度此段申進ス



外務省

極秘

外甲第五號

案起

昭和十七年二月二十日

裁可昭和 年 月 日 施行
決定昭和十七年二月二十日

昭和 年 月 日

內閣總理大臣

為

內閣書記官長

內閣書記官

昭和十七年 二月二十七日

宮内大臣 宛

內閣總理大臣

滿洲建國十周年祝賀ノ爲本邦ヨリ特使

御差遣ニ關スル件

標記ノ件本日別紙ノ通閣議決定致候ニ付テハ至急可然御取計方御配

五

慮相煩度此段申進候

極秘

甲第五號

案起 昭和十七年二月二十日

閣議決定 昭和十七年二月二十日施行
裁可 昭和十七年二月二十七日

內閣總理大臣



內閣書記官長

送

內閣書記官



外務大臣

若

海軍大臣

五

商工大臣

五

厚生大臣

行

內務大臣

湯

司法大臣

五

遞信大臣

五

陸軍大臣



大藏大臣

興

文部大臣



鐵道大臣

五

陸軍大臣



農林大臣

五

拓務大臣

五

別紙外務大臣請議

滿洲建國十周年祝賀、爲本邦

ヨリ特使御差遣ニ關スル件
右閣議ニ供ス

指令案

滿洲建國十周年祝賀ノ爲本邦ヨリ
特使御差遣ニ關スル件請議ノ通

極秘

亞一極秘第一〇五號

昭和十七年二月二十三日

外務大臣 東 郷 茂



内閣總理大臣 東 條 英 機 殿

滿洲建國十週年祝賀ノ爲本邦ヨリ特使御差遣ニ
關スル件

本件ニ關シ別紙ノ通閣議決定相成様致度此段及請議候也

外務省

滿洲建國十週年祝賀ノ爲本邦ヨリ特使御差遣ニ
關スル件

本年ハ滿洲建國十週年ニ當ルヲ以テ右祝賀ノ爲大体左記要領ニ依
リ本邦ヨリ特使御差遣相成様必要ノ手續ヲ執ルコトト致度
追而本邦ヨリノ特使御差遣實現セララル場合之ニ對スル御答禮
ハ期待セサルモノトス

記

- 一時期 本年五、六月中
- ニ期間 約二週間
- 三特使 皇族
- 備考 狀況ノ變化ニ依リテハ御差遣ニ付更ニ考慮スルモノトス

先例

内閣外甲第三五號 昭和九年五月三日起案 昭和九年五月四日決定

内閣總理大臣 花押 内閣書記官長 印 内閣書記官 印 印 印

閣 議 濟

別紙外務大臣請議

滿洲國帝制實施祝賀等ノ爲本邦ヨリ特使御差遣ニ關スル件
右閣議ニ供ス

指 令 案

滿洲國帝制實施祝賀等ノ爲本邦ヨリ特使御差遣ニ關スル件請議ノ通

昭和九年五月四日指令

内閣

亞三機密第二七六號

昭和九年五月三日

外務大臣 廣田 弘毅 印

内閣總理大臣子爵齋 藤 實 殿

滿洲國帝制實施祝賀等ノ爲本邦ヨリ特使御差遣ニ
關スル件

本件ニ關シ別紙ノ通閣議決定相成様致度此段及請議候也

内閣

滿洲國帝制實施祝賀等ノ爲本邦ヨリ特使御差遣ニ

關スル件

滿洲國ノ帝制實施祝賀竝滿洲國皇帝皇后ニ對スル勳章贈呈ノ爲大体左
記要領ニ依リ本邦ヨリ特使御差遣相成様必要ノ手續ヲ執ルコトト致度
追而本邦ヨリノ特使御差遣實現セララル場合ニハ之ニ對スル答禮ノ
意味ニテ大体來年春滿洲國皇帝御來朝ノ豫定ニシテ之ニ對スル答禮
ニ付テハ帝國ニ於テ更ニ考慮ノ要無之

記

一、時

期

本年五、六月中

二、期

間

約十五、六日（往復ヲ含ム）

三、特

使

皇族

内閣外甲第三五號屬

昭和九年五月四日起案

同年五月四日決定

同日施行

内閣書記官

印

印

内閣總理大臣

花押

内閣書記官長

印

昭和九年五月四日

内閣總理大臣

宮内大臣 京

滿洲國帝制實施祝賀ノ爲
皇族御差遣ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ客月二十六日外務大臣ヨリ御依頼申進候處本件ニ關シテハ本日閣議ニ於テ正式決定ノ次第モ有之至急御取計方可然御配慮相煩度此段申進候

追テ皇族御差遣實現セラルル場合ニハ之ニ對スル答禮ノ意味ヲ以テ大体來年春滿洲國皇帝御來朝ノ豫定ニシテ之ニ對スル答禮ニ付帝國ニ於テ更ニ考慮ノ要無之候條爲念申添候

閣第 二二三 號

案 起
昭和十七年五月二十日

閣議 昭和十七年五月二十日 施行
決定 昭和十七年五月二十日
裁可 昭和 年 月 日

內閣總理大臣

Handwritten signature

內閣書記官長

Handwritten signature

內閣書記官 

外務大臣

Handwritten signature

海軍大臣

Handwritten signature

商工大臣

Handwritten signature

厚生大臣

Handwritten signature

內務大臣

Handwritten signature

司法大臣

Handwritten signature

遞信大臣

Handwritten signature





大藏大臣

Handwritten signature

文部大臣

Handwritten signature

鐵道大臣

Handwritten signature

陸軍大臣

Handwritten signature

農林大臣

Handwritten signature

拓務大臣

Handwritten signature

別紙 日、夕、同 盟 慶 祝 大 使 夕、夕、夕

國ニ派遣スルノ件
右閣議ニ供ス

閣議決定ノ旨外務省高等官一員
（重臣通切済）



極秘

(昭和十七年五月二十二日)

日「タイ」同盟慶祝特派大使ヲ「タイ」國ニ派遣スルノ件 (閣議決定案)

露ニ「タイ」國政府ハ昨年十二月成立セル日「タイ」同盟ヲ慶祝スルタメ前總理、元老「ピヤ・パホン」中將ヲ首班トシテ使節團ヲ派遣シタルガ之ニ對シ今回帝國政府ハ日「タイ」同盟慶祝答禮ノ爲特派大使トシテ前內閣總理大臣從二位勳一等廣田弘毅ヲ泰國ニ派遣スルコトトス

備考

項

- 一 時期ハ六月下旬東京出發泰國滞在十日位ト豫定シ先方ト交渉ノ上決定ス
- 二 出發前約二週間特派大使派遣ノ次第ヲ發表ス但出發ノ時期ハ旅行經路ハ到着迄極秘トス
- 三 隨員ハ總數十名内外トス

特派大使及特派使節、例

任命年月日	辭令	官	氏名
昭和四、十、八	「バル」國ニ於ケル大統領就任式ニ特派大使トシテ 参列被仰付	特命全權公使	來栖 三郎
「十六、十二、十一	「アルゼンティン」國ニ於ケル大統領就任式ニ特派大使 トシテ参列被仰付	「	内山 岩太郎
「十三、六、一	「ウルグァイ」國ニ於ケル大統領就任式ニ特派大使ト シテ参列被仰付	「	「
「十三、七、二二	「ロンドニア」國ニ於ケル大統領就任式ニ特派大使トシ テ参列被仰付	「	山形 清
「十三、十二、十七	「チリ」國ニ於ケル大統領就任式ニ特派大使トシテ 参列被仰付	「	三宅 哲一郎
「十四、八、七	「ペラグアイ」國ニ於ケル大統領就任式ニ特派大使 トシテ参列被仰付	「	内山 岩太郎
「十四、三、三一	「イラン」國皇太子殿下婚儀ニ付特派大使トシテ 参列被仰付	「	中山 詳一
「十四、十二、六	「ベル」國ニ於ケル大統領就任式ニ特派大使トシテ 参列被仰付	「	北田 正元
「十五、三、二七	「ボリウエア」國ニ於ケル大統領就任式ニ特派大使ト シテ参列被仰付	「	「
「十五、九、二六	「パナマ」國ニ於ケル大統領就任式ニ特派使節トシテ 参列被仰付	公使館三等 書記官	大野 勝巳
「十五、五、十一	「ポルトガル」國建國記念祭ニ特派大使トシテ参列 被仰付	特命全權公使	米澤 菊二
「十五、八、二八	特派使節トシテ蘭領印度ニ被派遣	前大臣	小林 一三

目

昭和十五年十一月九

佛領印度支那三特派使節ト被派遣

特命全權大使

松宮

順

敬啟者
 特派使節
 松宮
 順
 謹啟



「タイ」國差遣特派大使廣田弘毅
携行ノ國書御下付ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十七年六月二十六日

内閣總理大臣東條英機



外甲第二〇號

案起

昭和十七年六月十日

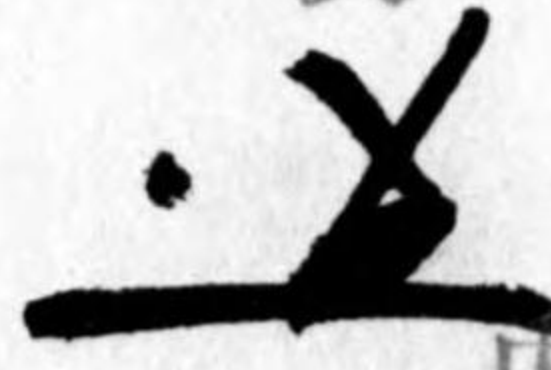
裁可 昭和十七年五月十日 施行
決定 昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

内閣總理大臣



内閣書記官長



内閣書記官





タイ國差遣特派大使廣田弘毅
携行ノ國書御下付ノ件

内閣

今般從二位勳一等廣田弘毅儀日「タイ」同盟慶祝答禮ノ爲ノ特派
大使トシテ「タイ」國へ差遣セラレ候ニ付同人携行ノ國書別紙ノ
通立案ノ上奉供 欽閱候間御本書御下付相成様仕度此段謹テ奏ス

昭和十七年六月二十五日

外務大臣 東 郷 茂



天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル

大日本帝國天皇（御名）

「タイ」國皇帝「アナンタ、マヒドン」陛下ニ白ス

朕惟フニ日「タイ」同盟條約ノ成立ハ兩國友誼ノ歴史ニ比類無キ
光彩ヲ加ヘ大東亞共榮圈ノ確立ニ貴重ナル貢獻ヲ爲シタリ而シテ
陛下陸軍中將「ピヤ、パホン、ポンパユハセーナ」閣下ヲ特派使
節トシテ朕カ下ニ遣ハシ傳フルニ懇篤ナル慶祝ノ意ト敦厚ナル友
好ノ情トヲ以テセラレタリ朕深ク之ヲ懌フ

乃チ朕茲ニ朕カ信任スル從二位勳一等廣田弘毅ヲ特派大使トシテ

闕下ニ差遣シ恭シク同盟條約ノ成立ヲ慶賀シ曩ニ

陛下カ朕ニ寄セラレタル懇親ノ辭ニ答ヘ

陛下ニ朕カ至高ノ敬意ト親愛ノ衷情トヲ表セントス

抑々萬邦ヲシテ各其ノ所ヲ得シメ世界ノ平和ト繁榮トニ寄與スル

ハ帝國不易ノ國是ニシテ東亞ノ安定ト興隆トハ朕カ特ニ冀念シテ

已マサル所ナリ是ヲ以テ帝國ハ「タイ」國ノ自主獨立ヲ尊重シ其

ノ國勢ノ伸張ヲ支援セリ「タイ」國亦克ク帝國ノ眞意ヲ了解シ帝

國ニ誼ヲ敦クシテ渝ラス曩ニ帝國カ米英兩國ニ對シテ干戈ヲ執ル

ノ已ムナキニ至ルヤ「タイ」國ハ善ク計リ善ク斷シ直ニ帝國トノ

間ニ同盟ヲ締結シ次テ米國及英國ニ對シテ宣戰シ以テ戰爭ノ遂行

ニ緊密ナル協力ヲ致シ來レルハ朕カ欣悅措カサル所ナリ

今ヤ東亞ニ於ケル米英ノ主要據點ハ悉ク潰滅シ新秩序ノ建設着々
其ノ歩ヲ進ム帝國ハ愈勝利ヲ確信シ不撓不屈盟邦「タイ」國ト相
携ヘテ一切ノ障礙ヲ破碎シ征戰ノ目的ヲ貫徹セントス
朕ハ弘毅カ克ク朕カ意ヲ體シ其ノ使命ヲ完ウスルニ遺憾無カルヘ
キヲ信ス茲ニ重ネテ朕カ恭敬親愛ノ意ヲ表シ併セテ
陛下ノ康寧ヲ祈ル

神武天皇即位紀元二千六百二年昭和十七年六月二十七日東京宮城
ニ於テ親ヲ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名國璽

外務大臣

外務省

急

儀極祕第四一五號

昭和十七年六月二十五日

主任者、儀典課、高澤

外務大臣 東 郷 茂 德

内閣總理大臣 東 條 英 機 殿

「タイ」國差遣廣田特派大使携行ノ國書立案
上奏ノ件

今般日「タイ」同盟慶祝答禮ノ爲「タイ」國へ差遣ノ廣田特派大使携行ノ國書別紙ノ通立案上奏致候間可然御取計相成度此段申進候也

外甲二〇

外務省

別紙内談シ奉リ先ニ付畧存ナキ目同各弘度ニ

日「タイ」同盟慶祝帝國特派大使携行國書草案

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル

日本帝國天皇（御名）

「タイ」國皇帝「アナンタ、マピドン」陛下ニ白ス

○惟フニ日「タイ」同盟條約ノ成立ハ兩國友誼ノ歴史ニ比類無キ光

彩ヲ加ヘ大東亞共榮圈ノ確立ニ貴重ナル貢獻ヲ爲シタリ而シテ

陛下陸軍中將「ピヤ、バホン、ボンバユハセーナ」閣下ヲ特派使節

トシテ○ガ下ニ遣ハシ傳フルニ懇篤ナル慶祝ノ意ト敦厚ナル友好ノ

情トヲ以テセラレタリ ○深く之ヲ懌ブ

乃チ○茲ニ○ガ信任スル從二位勳一等廣田弘毅ヲ特派大使トシテ

閣下ニ差遣シ恭シク同盟條約ノ成立ヲ慶賀シ曩ニ

陛下カ〇ニ寄セラレタル懇親ノ辭ニ答ヘ

陛下ニ〇ガ至高ノ敬意ト親愛ノ衷情トヲ表セントス

抑々萬邦ヲシテ各其ノ所ヲ得シメ世界ノ平和ト繁榮トニ寄與スルハ

帝國不易ノ國是ニシテ東亞ノ安定ト興隆トハ〇ガ特ニ冀念シテ已マ

ザル所ナリ是ヲ以テ帝國ハ「タイ」國ノ自主獨立ヲ尊重シ國勢ノ伸

張ヲ支援セリ「タイ」國亦克ク帝國ノ眞意ヲ了解シ帝國ニ誼ヲ敦ク

シテ渝ラス曩ニ帝國ガ米英兩國ニ對シテ干戈ヲ執ルノ已ムナキニ至

ルヤ「タイ」國ハ善ク計リ善ク斷シ直ニ帝國トノ間ニ同盟ヲ締結シ

次デ米國及英國ニ對シテ宣戰シ以テ戰爭ノ遂行ニ緊密ナル協力ヲ致

シ來レルハ〇ガ欣悅措カサル所ナリ

今ヤ東亞ニ於ケル米英ノ主要據點ハ悉ク潰滅シ新秩序ノ建設着々其

歩ヲ進メツツアリ帝國ハ愈勝利ヲ確信シ不撓不屈盟邦「タイ」國ト相携ヘテ一切ノ障礙ヲ破碎シ征戰ノ目的ヲ貫徹セントス

○ハ弘毅カ克ク○カ意ヲ體シ其ノ使命ヲ完ウスルニ遺憾無カルベキヲ信ス茲ニ重ネテ○カ恭敬親愛ノ意ヲ表シ併セテ

陛下ノ康寧ヲ祈ル

神武天皇即位紀元二千六百二年昭和十七年六月 日東京宮城ニ於

テ親ヲ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御 名 國 璽

公式令

第十三條 國

其ノ他外交上ノ親善、條約批准書、全權委任狀、外國派遣官吏委任狀、名義委任狀、外國領事承認書、此ニ因テ對等條約署名ノ後、國璽ヲ鈐シ主任ノ國、外務大臣ニ授ク、全權委任狀ニハ内閣總理大臣ニ授ク

外務大臣 副署

外務省

閣甲第二七五號

案起

昭和十七年六月三十日

決定昭和

年月日

施行

昭和

年

月

日

內閣總理大臣

內閣書記官長

內閣書記官

昭和十七年六月三十日（六月三十日付）

內閣書記官長

外務大臣

大藏大臣

興亞院總裁

宛（各通）

中華民國國民政府ニ特派大使派遣ノ件



閣甲第二七五號

案起

昭和十七年六月三十日

決定	昭	和	年	月	日
施行	昭	和	年	月	日

內閣總理大臣

內閣書記官長

內閣書記官

昭和十七年六月三十日（六月三十日付）

內閣書記官長

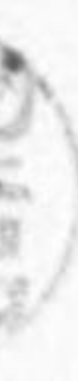
外務大臣

大藏大臣

興亞院總裁

宛（各通）

中華民國國民政府ニ特派大使派遣ノ件



極秘

中華民國國民政府ニ特派大使派遣ノ件

國民政府ヨリハ曩ニ汪主席兼行政院院長、來訪アリ先般又褚訪日特派

訪スルト共ニ日支兩國ノ提携ヲ更ニ

府ニ特派大使派遣ノ件ヲ奏請スルコ

本日閣議ニ於テ決定

(略式同例)

此項外交事務大抵者ニ

通知

極秘

中華民國國民政府ニ特派大使派遣ノ件

國民政府ヨリハ曩ニ汪主席兼行政院院長、來訪アリ先般又褚訪日特派大使ヲ派遣越シタル處右ニ對シ答訪スルト共ニ日支兩國ノ提携ヲ更ニ一段ト強化スル目的ヲ以テ國民政府ニ特派大使派遣ノ件ヲ奏請スルコト



中華民國國民政府ニ對スル答訪特派大使
男爵平沼騏一郎外二名携行ノ國書御下付ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十七年九月十二日

內閣總理大臣東條英機



外甲第二七號

案起

昭和十七年九月十二日

裁可 昭和十七年九月十二日 施行

決定 昭和 年 月 日

內閣總理大臣



內閣書記官長



內閣書記官



中華民國國民政府ニ對スル答訪特派大使男爵平沼騏一郎外二名携行ノ國書御下付ノ件

內閣

今般中華民國國民政府ニ對スル答訪ノ爲ノ特派大使トシテ同國ヘ
派遣セラルル男爵平沼騏一郎、有田八郎及永井柳太郎ノ携行スル
國書別紙ノ通立案ノ上奉供 欽閱候間御本書御下付相成様仕度此
段謹テ奏ス

昭和十七年九月十一日

外務大臣 東條 英



天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル

大日本帝國天皇（御名）

中華民國國民政府主席閣下ニ白ス

朕惟フニ東亞ニ於テ道義ニ基ク新秩序ヲ建設シ世界平和ニ貢獻セ
ントスルハ貴我兩國共同ノ目標ナリ而シテ曩ニ兩國ノ國交回復セ
ラルルヤ

閣下親シク來訪セラレ兩國ノ交誼ニ關シ其ノ衷情ヲ披瀝セララル
アリ更ニ國民政府委員外交部部長褚民誼閣下ヲ特派使節トシテ
朕カ下ニ遣ハシ傳フルニ懇篤ナル慶祝ノ意ト大業協成ノ決意トヲ
以テセラレタリ朕深ク之ヲ懌フ

朕ハ茲ニ朕カ信任スル正二位勳一等男爵平沼騏一郎正三位勳一等
有田八郎正三位勳一等永井柳太郎ヲ特派大使トシテ

閣下ノ下ニ差遣シ朕ニ寄セラレタル懇篤ノ辭ニ答ヘ

閣下ニ朕カ恭敬親愛ノ衷情ヲ致シ併セテ兩國提携ノ強化ニ資スル
所アラシム

朕ハ騏一郎八郎柳太郎カ克ク朕カ意ヲ體シ其ノ使命ヲ完ウスルニ
遺憾無カルヘキヲ信ス茲ニ重ネテ朕カ恭敬親愛ノ意ヲ表シ併セテ
閣下ノ康寧ヲ祈ル

神武天皇即位紀元二千六百二年昭和十七年九月 十四日東京宮城
ニ於テ親ヲ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名國璽

外務大臣

外務省

急

儀普通第六一二號

昭和十七年九月十一日

主任者、儀典課、高澤

外務大臣 東條 英機

内閣總理大臣 東條 英機 殿

中華民國國民政府ニ對スル答訪特派大使携行ノ
國書立案上奏ノ件

中華民國國民政府ニ對スル答訪ノ爲ノ特派大使トシテ同國へ差遣
セラルル男爵平沼騏一郎、有田八郎及永井柳太郎ノ携行スル國書
別紙ノ通立案上奏致候間可然御取計相成度此段申進候也

外務省



同外...

閣第四三八號

案起 昭和十七年十月十三日

閣議決定 昭和十七年十月十三日 施行
裁可 昭和 年 月 日

昭和十七年十月十三日

內閣總理大臣

內閣書記官長

內閣書記官

外務大臣

自

海軍大臣

五

商工大臣

五

厚生大臣

海

內務大臣

春

司法大臣

五

遞信大臣

五

公國務大臣

五

大藏大臣

興

文部大臣

五

鐵道大臣

五

安藤國檢大臣

五

陸軍大臣

五

農林大臣

五

拓務大臣

五

青木國務大臣

五

別紙「タイ」國水害慰問應急對策二

10

通牒案

昭和十七年十月十三日

内閣書記官長

企畫院總裁

外務大臣

農林大臣

商工大臣

厚生大臣

大藏大臣

宛(各通)

内

閣

「夕イ」國水害慰問應急對策

ニ関スル件

標記ノ件別紙ノ通閣議決定相
成候條命ニ依リ通牒ニ及ビ候

極秘

「タイ」國水害慰問應急對策ニ關スル件（閣議決定案）

今次「タイ」國ハ二十五年來（五十年來トモ謂フ）ノ大洪水ヲ蒙リ
米作其ノ他人畜ニ相當ノ被害豫想セラルル處我方ニ於テ速カニ慰問
ノ措置ヲ講ジ「タイ」國民心把握ニ資スルト共ニ敵側ノ宣傳攪亂工
作ヲ封ズル爲、差當リ慰問品其ノ他ヲ合セ日本金五百萬圓ヲ限度ト
シテ救濟ヲナスモノトス

右五百萬圓ハ第二豫備金ヲ以テ支出シ慰問品ノ調達ニ付テハ關係各
廳ハ至急密接ニ協力シ以テ本件措置が時期ヲ失セサル如ク措置スル
モノトス

極秘

日本内地ヨリ供出スヘキ物資概況

参考

品目	数量	価格(概算)
一 煙草	六〇〇〇万本	五八〇千圓
二 ビール	二五〇〇萬	三八〇〇〇〇
三 錠詰	五〇〇〇萬	一〇〇〇〇〇〇
四 除虫菊及同製品		一六〇〇〇〇〇〇
五 茶	二〇〇〇萬擔	二六〇〇〇〇〇〇
六 タヲル	三万打	一〇〇〇〇〇〇〇〇
七 「ブランケット」其他纖維製品	五	五〇〇〇〇〇〇〇〇
八 マツチ	三〇〇〇萬噸	四五〇〇〇〇〇〇〇〇
九 石 炭		五〇〇〇〇〇〇〇〇
一〇 齒ブラシ齒塵粉		五〇〇〇〇〇〇〇〇
一一 醫藥品(含醫藥)		二〇〇〇〇〇〇〇〇

一 二 消毒藥 (研究中)	一〇〇〇千圓
一 三 其他新品 (文房具、玩具等)	一〇〇〇〃
計	一八三三〃

具ノ他現地希望ニ基キ蠟燭、乾電池、燈用油、幼兒用「ミルク」
等ニ就キ研究中

閣下第 四六六號

案起 昭和十七年十一月

日 閣議 昭和十七年十一月二十七日 施行 裁可 昭和 年 月 日

昭和十七年十一月二十七日

內閣總理大臣



內閣書記官長

五

內閣書記官



外務大臣

由

海軍大臣

五

商工大臣

五

大東亞大臣

表

內務大臣



司法大臣

五

遞信大臣

五

陸軍大臣



大藏大臣

興

文部大臣

五

鐵道大臣

五

農林大臣

為

陸軍大臣



農林大臣

五

厚生大臣

五

別紙內閣總理大臣並大東亞大臣請議

古閣議ニ於テ

華人勞務者内地移入ニ關スル件
右閣議ニ供ス

指令案

華人勞務者内地移入ニ關スル件請
議ノ通

企畫院上申第三五〇號

閣議請議

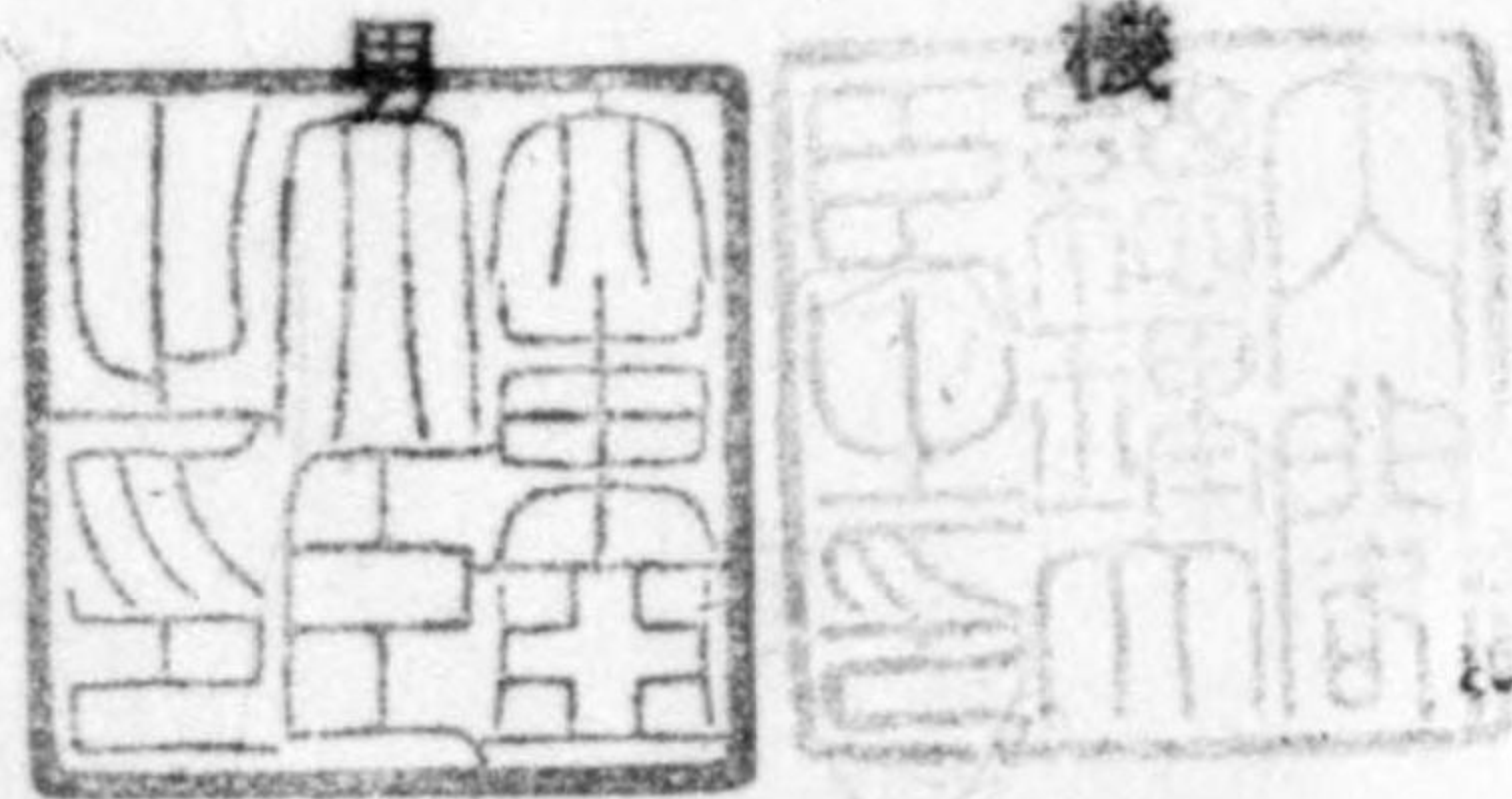
昭和十七年十一月二十六日

內閣總理大臣 東條英機

大東亞大臣 青木一

內閣總理大臣 東條英機 殿

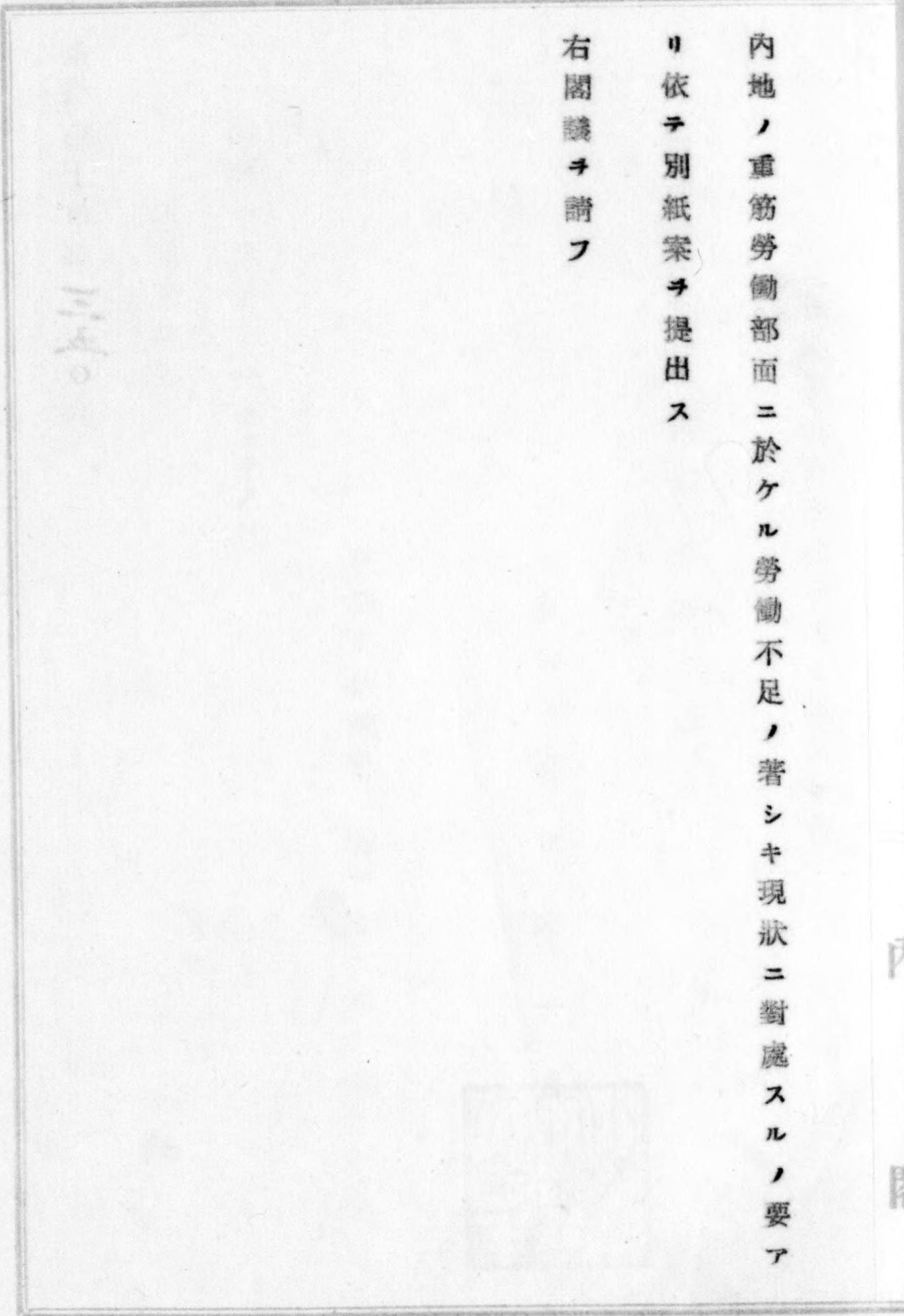
華人勞務者內地移入ニ關スル件



閣中四六六

内地ノ重筋労働部面ニ於ケル労働不足ノ著シキ現状ニ對處スルノ要アリ依テ別紙案ヲ提出ス

右閣議ヲ請フ



極秘

華人勞務者内地移入ニ關スル件 (案)

(企畫院
大東亞省)

企 計 日 人 國 〇 〇 二 十 八 號

昭 和 十 七 年 十 一 月 二 十 七 日

企 畫 院 第 三 部

第一 方針

内地ニ於ケル勞務需給ハ愈々逼迫ヲ來シ特ニ重務勞動部面ニ於ケル勞力不足、著シキ現狀ニ鑑ミ左記要領ニ依リ華人勞務者ヲ内地ニ移入シ以テ大東亞共榮圈建設ノ遂行ニ協力ヒシメントス

第二 要 領

- 一、本方針ニ依リ内地ニ移入スル華人勞務者ハ之ヲ國民動員計畫產業中鑛業、荷役業、國防土木建築業及其、他ノ工場雜役ニ使用スルコトトスルモ差當リ重要ナル鑛山、荷役及工場雜役ニ限ルコト
- 二、移入スル華人勞務者ハ主トシテ華北ノ勞務者ヲ以テ充ツルモ事情ニ依リ其、他ノ地域ヨリモ移入シ得ルコト 但シ緊急要員ニ付

- 一、ニハ成ル可ク現地ニ於テ使用中ノ同種勞務者竝ニ訓練セル元俘虜、元歸順兵ニシテ素質優良ナル者ヲ移入スル方途ヲモ考慮スルコト
- 二、移入スル華人勞務者ノ募集又ハ輸送ハ華北勞工協會ヲシテ新民會其ノ他現地機關トノ運送ノ下ニ之ニ當ラシムルコト
- 三、移入スル華人勞務者ハ年齢概ネ四〇歳以下ノ男子ニシテ心身健全ナル者ヲ選拔スルコトトシ家族ヲ同伴トシメザルコト
- 四、華人勞務者及其ノ指導者ハ移入ニ先立テ一定期間現地ノ適當ナル機關ニ於テ必要ナル訓練ヲ爲スコト
- 五、華人勞務者ノ使用ヲ認ムル事業場ハ華人勞務者ノ相當數ヲ集團的ニ就勞ヒシムルコトヲ條件トシ關係廳協議ノ上之ヲ選定スルコト但シ華人勞務者ヲ供給業者ニ取扱ハシムルコトハ原則トシテ認メザルコト
- 六、華人勞務者ノ契約期間ハ原則トシテ二年トシ同一人ヲ繼續使用スル場合ニ於テハ二年經過後適當ノ時期ニ於テ希望ニ依リ一時歸國ヒシムルコト

八、華人勞務者ノ管理ニ關シテハ華人ノ慣習ニ急激ナル變化ヲ來サ

ザル如ク特ニ留意スルコト

九、華人勞務者ノ食事ハ米食トセズ華人勞務者ノ通常食ヲ給スルモ
ノトシ之ガ食糧ノ手當ニ付テハ内地ニ於テ特別ノ措置ヲ講ズルコ

ト

一〇、勞務者ノ所得ハ支那現地ニ於テ通常支拂ハルベキ賃銀ヲ標準

トシ殘留家族ニ對スル送金ヲモ考慮シテ之ヲ定ムルコト

一一、華人勞務者ノ移入ノ時期、員數、輸送、防疫、防諜、登録其ノ
他移入ニ必要ナル具體的細目ニ付テハ關係廳協議ノ上決定スルコ
ト

一二、華人勞務者ノ家族送金及持歸金ニ付テハ原則トシテ特別ノ制
限ヲ付セザルコトトシ本方策ノ實施ニ依リ日支間國際收支ニ重大
ナル影響ヲ及ボスベキ場合ニハ可能ナル範圍ニ於テ内地ヨリ支那
向適當ナル裏付物資ノ給付ニ付考慮スルコト